

編集委員異動（平成十五年度）

平成十五年四月一日付で日本東洋美術研究室研究員綿田稔は情報調整室研究員に配置換えとなった。

平成十五年四月一日付で情報調整室研究員塩谷純は美術部黒田記念近代現代美術研究室研究員に配置換えとなった。

平成十五年六月、海外編集委員を梨花女子大学校大学院教授・韓国美術研究所所長洪善杓氏に委嘱した。

平成十五年六月、海外編集委員を国立故宮博物院副院長・国立台湾大学教授石守謙氏に委嘱した。

平成十六年三月二十九日で情報調整室長井手誠之輔は九州大学大学院人文科学研究教授（芸術学講座）に転出した。

美術部報（平成十五年度）

美術部オープンレクチャー

第三十五回より公開学術講座の名称を美術部オープンレクチャーと改め、第三十七回にあたる今回は研究所セミナー室において「日本における外来美術の受容」をテーマにして左記のとおり二回にわたって開催した。

十月十七日（金）午後一時三十分～四時

古代日本における極楽イメージの受容

勝木言一郎

日本に請来された宋時代の版画

昭和女子大学 内田啓一

十月十八日（土）午後一時三十分～四時

雪舟入明を考へる

情報調整室 綿田 稔

「物はやりする」画家たち―江戸時代絵画の中の唐絵―

神戸市立博物館 成澤勝嗣

『日本美術年鑑』の刊行

美術部編集による『日本美術年鑑』平成十四年度版（平成十三年一月～十二月の記

事）は平成十六年三月に刊行された。

黒田清輝巡回展

昭和五十二年以来、毎年開催してきた黒田清輝巡回展（近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展）を、平成十五年度は七月十九日（土）から八月三十一日（日）まで和歌山県立近代美術館で開催した。

研究会

五月七日 移動する作品、旅する画家 ―藤田嗣治をめぐって―

京都造形芸術大学 林 洋子

六月二十五日 東京国立博物館保管黒田資料について

―日記および手紙控えを中心に― 東京国立博物館 基信祐爾

七月二十三日 黒田清輝宛仏語書簡について

横浜・龍華寺 菩薩半跏踏み下げ像 武蔵大学 小山ブリジット

―新出の天平脱活乾漆像をめぐって― 津田徹英

松本竣介《画家の像》、《立てる像》、《五人》、《三人》の

包括的解釈 愛知県美術館 村上博哉

九月二十四日 法然上人像（隆信御影）について

東寺観智院蔵木造五大虚空蔵菩薩像の調査とその成果 津田徹英

国際文化財保存修復協力センター 岡田 健

十一月二十六日 バミヤーン石窟壁画の意義と現状

明治10年代における欧米人の日本国内旅行と日本美術 中野照男

史の形成 鈴木廣之

明治後期に滞日した仏人エマニュエル・トロンコアと

日本の洋画壇

フランス国立東洋言語文化研究所 クリストフ・マルケ

コメンテーター 日本女子大学 馬淵明子

司会 田中 淳

一月二十日 江戸時代における朝鮮画の接触と求得の意図

―朝鮮通信使を中心に―

梨花女子大学校大学院・韓国美術研究所 洪 善 杓

逐次通訳 慶應義塾大学大学院 石 附 啓 子

司会 鈴木 廣 之

二月十七日

テキスト対イメージ

―夏文彦『図絵宝鑑』と14・15世紀における中国絵

画に対する日本の反応に関する諸問題―

国立故宫博物院・国立台湾大学 石 守 謙

逐次通訳 京都大学大学院 巖 雅 美

司会 情報調整室 井手誠之輔

三月十七日

東京文化財研究所における近年の中央アジア美術研究
韓国における中央アジア考古美術研究の現況
中野 照 男

韓国国立中央博物館 閔 丙 勲

三月二十四日

高麗仏画における北宋理解
―鏡神社所蔵水月観音像にみられる補陀洛山の視覚表現―

情報調整室 井手誠之輔

情報調整室 城野 誠 治